
約 100 種類のビールを揃えた本格派“ビールの祭典”

『横浜オクトーバーフェスト 2025』

9 月 26 日（金）より横浜赤レンガ倉庫にて開催！

本場・ドイツの雰囲気横浜でとことん忠実に再現！

老舗醸造所「横浜ビール」と開発した“オリジナルフェストビア”で横浜ならではの体験も
ビールを飲まない人でも楽しめる、ノンアルコール/ビール以外のドリンクも充実！

横浜赤レンガ倉庫では、2025 年 9 月 26 日（金）から 10 月 13 日（月・祝）の計 18 日間、横浜赤レンガ倉庫イベント広場にて『横浜オクトーバーフェスト 2025』を開催します。



『横浜オクトーバーフェスト 2025』キービジュアル

「オクトーバーフェスト」は、ドイツ・ミュンヘンで 1810 年から開催されている、世界最大規模のビールの祭典です。本イベントは、会場の「横浜赤レンガ倉庫」がドイツの建築様式を一部に取り入れた歴史的建造物であることから、本場・ドイツに限りなく近い雰囲気を楽しめるオクトーバーフェストとして 2003 年から開催しており、今年で 22 回目を迎えます。横浜の“秋の風物詩”として、昨年は 13 万人以上にご来場いただいた、横浜赤レンガ倉庫の大型イベントの 1 つです。

今回も例年ご好評いただいている“日本初上陸”や“会場限定”の貴重なビールをはじめ、本格的なドイツビールや地ビール等、約 100 種類のビールを展開します。中でも今回初の取り組みとして、地元・横浜の老舗クラフトビール醸造所「横浜ビール」と初コラボして本イベントに向けて開発したオリジナルフェストビアが登場。本イベントのために制作された世界的洋食器ブランド「ノリタケ」のオリジナルピアマグに注ぎ、横浜でしか味わえない特別な乾杯をお楽しみいただけます。

さらに今年は、アルコールを飲まない方/ビールを飲まない方にもお楽しみいただけるよう、全ての飲食店舗でノンアルコールドリンク/ビール以外のドリンクをご用意しているところが大きなポイント。ビールの味が苦手な人でも飲みやすいフルーツビールなど、幅広いラインナップをご用意しております。

その他、昨年初導入してご好評いただいた、大型テント内の人気の客席を確保できる有料の「事前予約席」を約 2 倍に拡大するほか、お得な来場キャンペーンも期間中に設けているため、ぜひお気軽にお越しください。

<見どころ>

■現地視察をして忠実に再現した“本場感”

横浜赤レンガ倉庫でのオクトーバーフェストは、本場に倣い大型の特設テントや細部までこだわった装飾、ビール醸造所のビアガーデン席やホフブロイブース、ドイツ楽団の生演奏等、本場・ドイツのオクトーバーフェストの雰囲気を感じていただくことができます。

本場のオクトーバーフェストを再現するこだわりは格別で、横浜での開催に向けて本イベントの担当者がドイツへ現地視察に向くほど。本場で感じた熱気や賑わいを横浜でも体感いただけるよう、今年は例年にも増して本場感のあるコンテンツや空間づくりに一層力を入れています。

一本場要素その 1：本場を再現した会場構成

オクトーバーフェストといえば、ビールブースや客席が並び、ドイツ楽団の演奏が鳴り響く“**大型テント**”。本イベントではドイツから取り寄せたテントを使用し、本場と同じく最も盛り上がりを見せる目玉エリアとなっています。

また、現地視察で感銘を受けて導入する本場さながらの“**ビアガーデン席**”は、大型テント外の各醸造所ビールテント横に設けられており、心地よい風を感じながら味わうことのできる開放的なエリア。本場のスタイルを忠実に再現するべく、醸造所ごとに設けたビアガーデン席を 3 エリア展開します。

さらに、昨年に続き“**ホフブロイブース**”も。ビアガーデン席とは異なり屋根付きの独立したブースで、本場に倣い六角形の木の小屋“**ヒュッテ**”が初登場します。大型テント内やビアガーデン席とは違ったバーのような雰囲気があり、王室が愛した伝統のドイツビール「ホフブロイ」を思う存分楽しめるエリアです。



大型テント内 イメージ



ビアガーデン席 イメージ



ホフブロイブース イメージ

一本場要素その 2：ドイツ楽団の生演奏

圧巻の盛り上がりを見せる毎年恒例の**ドイツ楽団**による**生演奏**。つつい演奏に引き込まれる、一体感のあるステージをお楽しみいただけます。さらに今年は本場に倣い、**夜にはスペシャルな照明演出も！**



ドイツ楽団 イメージ

一本場要素その 3：オクトーバーフェスト定番コンテンツ

今年も日本初上陸ビールや会場限定ビール等、ビール好きもうなる貴重なビールを含め、約 100 種類をご用意しています。ビールにマッチするドイツフードも。

本場のオクトーバーフェストには、ドイツ政府公認のミュンヘン市内の選ばれた 6 大醸造所しか出店できません。その 6 大醸造所のうち、ホフブロイ、パウラーナー、ハッカープショール、シュパーテン、レーベンブロイの 5 つの醸造所が横浜オクトーバーフェストに揃います。



ビールイメージ



フードイメージ

■『横浜オクトーバーフェスト 2025』オリジナルフェストビア&オリジナルビアマグ

横浜にゆかりのある 3 つの企業がコラボしたオフィシャルビールブースが登場

横浜赤レンガ倉庫の地域活性化につながるサステナビリティ活動『RedBrick Hub』施策として、横浜の老舗クラフトビール醸造所「横浜ビール」と本イベントに向け特別に開発したオリジナルビール「横浜オクトーバーフェストビア〈ヘレス〉」が初登場。横浜ならではのオクトーバーフェストをお楽しみいただけます。



オリジナルビアマグ イメージ

このオリジナルフェストビアを注ぐのは、本イベントのために制作された世界的洋食器ブランド「ノリタケ」のオリジナルビアマグです。ノリタケ創業者が横浜港開港をきっかけに貿易を志したことから、ともに横浜に歴史があるご縁もあり、コラボが実現。初期のノリタケ製品にも採用されていたアールデコ調のデザインを用いて、ノリタケのデザイナーがこのビアマグのためだけに描き下ろした「デコレディ」があしらわれています。ご注目いただきたいのは、思わずカメラを向けたくくなるような乾杯の時に分かるお茶目な“仕掛け”。ビアマグ同士で乾杯すると、連動してビアマグに描かれたデコレディ同士も一緒に乾杯してくれる、遊び心たっぷりのデザインです。※会場内の各店舗で使用するグラス・ビアマグは別途デポジットが必要。洗浄して再利用するためお持ち帰りいただけません。

■昨年好評だった「事前予約席」を約 2 倍に拡大&より快適な空間にアップデート

昨年初導入して、ご好評をいただいた「事前予約席」は、混雑を気にせず確実に座って楽しむことができるプレミアム空間です。今年は予約席を約 2 倍に拡大することに加え、ビールの原材料であるホップを飾り付けるなど、予約席限定で本場さながらの装飾も施します。

予約時間は 1 時間～終日までお選びいただくことができ、昨年よりもフレキシブルに、ご都合に合わせてご利用可能。予約方法等の詳細は、8 月下旬公開予定です。

■アルコールを飲まない方・ビールを飲まない方も楽しめる

ビールの種類が約 100 種類と多いことは大前提として、アルコールを飲まない人・ビールを飲まない方も存分にお楽しみいただけるよう、今年は**全ての飲食店舗でノンアルコールドリンク・ビール以外のドリンク**もご用意します。ビールの味が苦手な方でも飲みやすくカラフルで可愛い**フルーツビール**をはじめ、ワインやジュースを炭酸水で割ったドイツの人気ドリンクの**ショーレ**や、食用のラメが入った**グリッターカクテル**、シャーベット状に仕上げた**フローズンカクテル**等もおすすめです。



ノンアルコール/ビール以外のドリンクイメージ

■お得な来場キャンペーン

お得にご来場いただける日を設けているため、ぜひお気軽に足を運んでみてください。詳細は 8 月下旬公開予定です。

ー横浜市民サクスデー／10 月 1 日（水）

横浜市にお住まいの方を対象に入場料が無料に。

ー横浜赤レンガ倉庫 presents 横浜 DeNA ベイスターズデー／10 月 8 日（水）

昨年に続き 2 回目！「横浜 DeNA ベイスターズ」のユニフォーム等グッズを着用して来場すると入場料が無料に。

■イベント気分が高まる！みんなで揃えたいアイテム

テーマパーク気分で過ごすのもよし！ビールをモチーフにした帽子、カチューシャ、アパレル等も販売します。賑やかで熱気に満ちた開放的な空間で、非日常感をお楽しみください。



グッズイメージ



<開催概要>

- ・期 間：2025年9月26日（金）～10月13日（月・祝） 計 18 日間 ※雨天決行、荒天時は休業することがあります
★『横浜市民サンクスデー』は 10 月 1 日（水）に実施
★『横浜赤レンガ倉庫 presents 横浜 DeNA ベイスターズデー』は 10 月 8 日（水）に実施
- ・会 場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場（〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 1-1）
- ・営業時間：平 日 12:00～21:30（L.O. 21:00）※9月26日（金）のみ 15:00～
土日祝 11:00～21:30（L.O. 21:00）
- ・入 場 料：500 円 ※中学生以下無料 ※20 歳未満の方は保護者の同伴が必要 ※飲食・物販代、ジョッキ預かり金（デポジット）は別途
- ・主 催：横浜赤レンガ倉庫（株式会社横浜赤レンガ・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
- ・後 援：横浜市、在日ドイツ商工会議所、ドイツ観光局
- ・特設サイト：<https://www.yokohama-akarenga.jp/oktoberfest/>

<SDGs への取り組み>

「横浜オクトーバーフェスト 2025」では、SDGs への取り組みを積極的に行なっています。

◎「RedBrick Hub」：

横浜赤レンガ倉庫では、地域活性化につながるサステナビリティ活動を推進。

株式会社横浜赤レンガは、「笑う、サステナブル」をコンセプトに、さまざまなサステナビリティ活動を推進しています。地球環境と横浜赤レンガ倉庫に訪れるお客様が重要なステークホルダーであると認識し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指します。その中で、横浜赤レンガ倉庫が中心となって、そこに集う様々な人びとと“+α”を生み出すプロジェクト『RedBrick Hub』を発足。本イベントでは、横浜市内で最も長い歴史を持つクラフトビール醸造所「横浜ビール」とコラボしたオリジナルフェストビアを提供するほか、横浜に歴史があるご縁から、世界的洋食器ブランド「ノリタケ」とコラボしたオリジナルビアマグが登場します。

◎プラスチック製品の削減：

会場内で販売するビールは、環境先進国・ドイツに倣い「デポジット制」で提供するほか、環境に配慮したカトラリー類や包装材を一部使用し、プラスチック削減に取り組みます。

◎GTL 燃料：

会場内の発電機の燃料は天然ガスから精製された GTL 燃料（軽油代替燃料）で、従来の軽油を使用した場合より CO₂ を約 8.5%削減。

◎Fry to Fly Project：

国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」に協力。イベントで出た廃食用油を持続可能な航空燃料製造に提供。従来の航空燃料に比べ、CO₂ 排出量を約 80%削減できます。

◎再生可能エネルギーの地産地消：

脱炭素化の実現に向けた再エネ普及拡大の一環として、横浜市内の家庭に設置されている太陽光発電設備の余剰電力（卒 FIT）を活用した取り組みを推進。イベントを含む、横浜赤レンガ倉庫で使用する電力の約 2 割相当を賄い、年間約 440 トンの CO₂ 排出量を削減できる見込みです。



※画像はイメージです。 ※価格は全て税込です。

※【注意】本リリースに記載されている内容は、変更になる可能性があります。8 月下旬頃に詳細情報の発表を予定しております。

<本件に関する一般向けのお問い合わせ先>

横浜赤レンガ倉庫 2 号館インフォメーション 電話：045-227-2002(代) ※受付時間：11：00～20：00